

みとうくつ たてあなしきせきしつ 未盗掘の竪穴式石室発見!

ふぼろ やがみ 婦本路古墳群 赤磐市弥上

当センターでは平成19年4月より婦本路2～4号墳の発掘調査を行い、2号墳では横穴式石室が、3号墳と4号墳では竪穴式石室が見つかりました。竪穴式石室は未盗掘で、埋葬当時の様子がよく残っていた点で注目されます。これらの竪穴式石室では、頭部には枕として須恵器の杯が並べられ、足もとには須恵器の杯や壺が置かれていました。特に3号墳では首飾りと考えられる玉類や、鉄鏃なども出土しています。

これら3基の古墳は、6世紀後半～末頃にかけてごく短期間に築造されたと考えられます。一般的には3号墳や4号墳のような竪穴式石室は6世紀後半には姿を消し、2号墳のような横穴式石室が広く普及することから珍しい事例となります。それぞれの古墳の関連性や、小丸山古墳・畑古墳・弥上古墳など、同時期の弥上地区一帯の有力な古墳との関係が注目されます。

(笹栗 拓)



古墳群の調査状況（西上空から）



3号墳 竪穴式石室内の様子

平成19年度の組織と業務内容

所長	次長	総務課	施設維持・管理、庶務・会計
参事	副参事	調査第一課	普及啓発、収蔵管理、市町村指導、発掘調査、県内遺跡確認調査
		第一班	調査活用事業【①鬼城山】
		第二班	一般県道吉備津松島線道路改築【②中撫川遺跡ほか】
			特別名勝岡山後楽園史跡等保存整備事業に伴う発掘調査【③特別名勝岡山後楽園】
		調査第二課	都市計画道路竹田升田線街路改築【④中島城跡ほか】
		第一班	主要地方道御津佐伯線緊急地方道路整備事業（交通安全）【⑤八塚古墳群】
		第二班	旭川放水路（百間川）改修【百間川今谷遺跡】
			一般国道180号総社・一宮バイパス建設【⑥南溝手遺跡】
			一般国道180号総社・一宮バイパス建設【窪木遺跡ほか】
			中国横断自動車道姫路鳥取線（鳥取自動車道）建設【中町B遺跡ほか】
		調査第三課	主要地方道岡山吉井線（美作岡山道路）道路改築【⑦二本木遺跡・小塚の谷古墳】
		第一班	主要地方道佐伯長船線（美作岡山道路）地方特定道路整備事業【鍛冶屋D遺跡】
		第二班	都市計画道路大谷一宮線街路改築【⑧美作国府跡ほか】
			主要地方道佐伯長船線（美作岡山道路）道路改築【⑨婦本路古墳群】
			一般県道総社足守線公共特定交通安全施設等整備事業【⑩延寿寺跡ほか】



住宅街を貫く新たな道路
：美作国府跡（南から）



丘陵上の調査（北から）



血吸川から見た鬼城山
（南東から）



中島城跡から岡山市街地（南西）をのぞむ



南溝手遺跡の調査状況（北西から）



新幹線橋脚沿いの調査：中撫川遺跡（南東から）



二本木遺跡・小塚の谷古墳 和気郡和気町宇生



小塚の谷古墳の全景（南東から）

主要地方道岡山吉井線（美作岡山道）道路改築に伴う発掘調査です。両遺跡とも丘陵上に位置しています。二本木遺跡では、弥生土器や須恵器などの土器片、石鏃、サヌカイトの剥片、鉄砲玉などさまざまな時代の遺物が出土しました。

小塚の谷古墳は北から南東に下がる斜面に築かれた、直径約8mの円墳です。埋葬施設は南東方向に開口する横穴式石室で、石室開口部の左右1mの範囲には2段の列石がめぐらされているのが特徴です。調査開始時にはすでに天井石がはずされていて、奥壁と側壁のみが残っていました。石室の規模は長さ5m、幅は最大で1mと細長い形状をしています。石室内からは棺に使用されたとされる鉄釘のほかに、須恵器の横瓶、土師器、鉄滓・炉壁が出土し、特に鉄滓の出土量が多いことが注目されます。

丘陵側には、半円形に周溝が掘られ、周溝からは7世紀前半の杯がほぼ完全な形で出土しました。

鉄滓は鉄をつくる際にできるカスであり、小塚の谷古墳の被葬者は製鉄に関連した人物であった可能性が考えられます。（三浦孝章）



古墳から出土した横瓶



横穴式石室の状況（南東から）

美作国府跡 津山市山北

平成18年度から始まった都市計画道路大谷一宮線街路改築に伴う美作国府跡の今年度の発掘調査では、これまでに、平安時代の終わり頃から鎌倉時代にかけての建物・井戸・溝などが確認されています。遺物も整理箱に約150箱出土しており、土師器・須恵器・勝間田焼・白磁をはじめ、瓦・硯・金属製品などがまとまって見つかりました。なかでも、「苦」の字が刻印された須恵器片は、「苦田郡衙」と関連する可能性がある貴重な資料とされます。

このほか、国府が造られる以前の、弥生時代中期から後期の竪穴住居や土壇墓なども検出されています。このうち多くの墓の底面では、木棺の痕跡が明瞭に認められました。（澤山孝之）



「苦」刻印須恵器



中世の溝を調査する様子（北西から）

中島城跡 岡山市中島

都市計画道路竹田升田線街路改築に伴う発掘調査です。平成15年度から行っている中島城跡の調査では、鎌倉～江戸時代の集落跡や、中島城の可能性のある戦国時代の館跡などが発見されています。

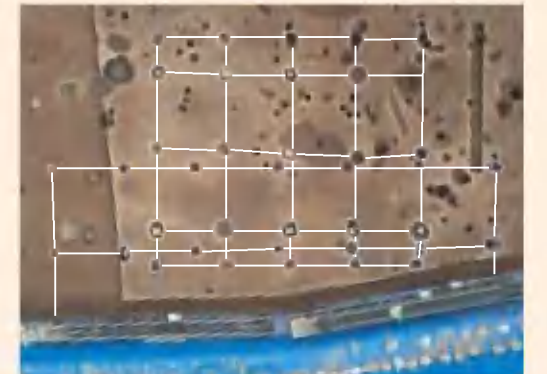
今回の調査区は館跡のすぐ北側に位置し、館跡に先行する鎌倉時代の屋敷地の様子が明らかになりました。見つかった遺構は、掘立柱建物や墓、土壇、炉跡、多数の柱穴などです。また、出土遺物では、椀や皿、カマド、鍋、甕などの大量の土器、墓に副葬された短刀や、束になって出土した鉄器などがあります。

掘立柱建物は、ほぼ同じ位置に重なる2棟を確認しました。1棟は4間×2間で、南北に庇を付けるものです。庇をのぞく身舎の床面積は約36㎡を測り、柱穴の底には礎石が置かれていました。また、もう1棟は東西6間の大形の建物で、南側は調査区外に続くものと考えられます。

墓は、東西の長さ1.3mの土壇内に死者を埋葬していました。土壇からは、頭蓋骨や歯の一部とともに副葬品の短刀が出土しました。それらの出土位置から、死者は東側に頭を向けて埋葬されていたと考えられます。土壇の上部には川原石の集石が見られました。

地面が円形に焼けた跡は、炉跡と考えられます。その周囲には炭や焼土が広がり、椀、カマド、鍋、こね鉢など多くの土器が見つっています。このような広がり、掘立柱建物よりも古いものですが、建物付近の集落高所から斜面にかけての数面を確認しました。中には並んで出土したカマドと鍋もあり、これらの地面が鎌倉時代の人々の生活面そのものといえます。

そのほかに注目される遺物として、束になって出土した鉄器があります。刀子や釘、馬具の一部など、約20点の細長い鉄器ばかりが穴に並べて収められていました。加工して再利用する目的で、ここに集められたものと考えられます。（高田恭一郎）



鎌倉時代の掘立柱建物（上空から：上が北）



短刀が出土した墓（北から）



束になって出土した鉄器



炉跡と土器の出土状況（東から）

センターの活動から

上半期のイベント(4～9月)

イベント名	開催日	開催場所	参加者
第1回考古学野外講座「緑山の古墳を歩く」	平成19年5月26日(土)	史跡公園四ツ塚・真庭市立緑山郷土博物館(真庭市)	62名
第1回考古学体験講座「土器を使って塩を作る」	平成19年7月21日(土)	県古代古備文化財センター	40名
夏休み少年少女鬼ノ城教室	平成19年8月18日(土)	史跡鬼城山・鬼城山発掘調査現場(総社市)	17名
大地からの便り2007 ～県内の発掘調査報告会～	平成19年8月25日(土)	岡山県立美術館	160名
謎の鬼ノ城城内調査大公開Ⅰ	平成19年9月10～16日	鬼城山発掘調査現場(総社市)	760名

下半期の予定(10～3月)

イベント名	開催日	開催場所	定員
第2回考古学体験講座「石器を作ろう!」	平成19年10月20日(土)	県古代古備文化財センター	40名
高島のむかしー竹田升田線関連遺跡発掘調査出土品展示会～	平成19年10月22・23・25・26日	高島公民館(岡山市)	—
高島のむかしー竹田升田線関連遺跡発掘調査報告会～	平成19年11月9日(金)	高島公民館(岡山市)	30名
鬼ノ城ウォーク	平成19年10月27日(土)	史跡鬼城山・鬼城山発掘調査現場(総社市)	40名
津島遺跡! やよい体験	平成19年11月2～6日	県総合グラウンド(まなびピア岡山2007協賛事業)	一部定員有
大地からの便り2007part2 ～真庭の古墳と古代寺院～	平成19年11月23日(金・祝)	久世エスパホール(真庭市)	—
大地からの便り2007part2 巡回展示	平成19年11月9～14日 下湯原ひまわり館・11月16～21日 真庭市役所北房支局・11月23日～12月3日 勝山郷土資料館		—
謎の鬼ノ城城内調査大公開Ⅱ	平成19年12月3～14日	鬼城山発掘調査現場(総社市)	一部定員有
第2回考古学野外講座「笠岡の古墳を歩こう」	平成20年1月19日(土)	かさおか古代の丘スポーツ公園(笠岡市)	未定
第3回考古学体験講座「縄文クッキーを作ろう!」	平成20年3月8日(土)	県古代古備文化財センター	40名

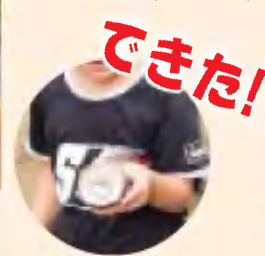
講座

第1回体験講座は40名の参加で、塩作りに関する説明を受けた後、火起こしや土器を使って塩水を煮つめる塩作り体験に取り組んでいただきました。大変暑い中、汗だくになりましたが、土器の中に白く固まった塩が見えると大喜び!

古代人の知恵と技に大満足の日でした。(和田剛)



第1回体験講座から
炉で海水を煮つめている様子。



見学・職場体験



青空の下、発掘にチャレンジ!
(県立岡山操山中学校in中島城跡)



出土品の記録・整理も大事な仕事の一つ。
土器の図はこうやって描くんだよ。



第1回野外講座から
横穴式石室探検だ!(四ツ塚1号墳)

夏休み少年少女鬼ノ城教室

小学校5年生～中学校3年生を対象に、鬼ノ城の見学や城内の発掘調査現場で発掘体験を行いました。当日は天気にも恵まれましたが、何より考古学者の卵の熱気でムンムン!

発掘体験では実際に土を削ったり、礎石の図面を描いたり、やぐらの上から写真撮影にも挑戦しました。

思ったより大変な作業だったようですが、夏休みの思い出に残る一日となったことでしょう。

(石田爲成)



発見された礎石(柱をすえる石)の実測です。いかに正確に記録を取ることがポイントです。

目指せ!
未来の考古学者



土の違いから、遺跡の埋まった状況を調べます。わかるかな?

大地からの便り2007

〈報告遺跡の内容〉

- ①大日遺跡(真庭市) 真庭市教育委員会
- ②窪木遺跡(総社市) 県古代古備文化財センター
- ③寒風古築跡群(瀬戸内市) 瀬戸内市教育委員会
- ④史跡鬼城山(総社市) 県古代古備文化財センター
- ⑤美作国府跡(津山市) 県古代古備文化財センター
- ⑥及遺跡(勝央町) 勝央町教育委員会

恒例の報告会も今年で20回目。当日は参加者160名を数える盛況な会となりました。なかには常連さんの顔もチラホラ。また、節目となる本年は、報告遺跡出土品の展示会を当センター展示室と岡山県立博物館の企画展で行い、より充実した展示内容をお届けすることができました。

(渡邊恵里子)



センター展示室の展示風景

現地説明会

遺跡名	開催日	参加者数
中島城跡	6月9日(土)	150名
婦本路古墳群	6月16日(土)	230名
小塚の谷古墳	8月4日(土)	120名
婦本路古墳群	8月4日(土)	120名



婦本路古墳群



中島城跡

展示室から

第1回企画展(H19. 5/8～7/18)
『最近刊行された発掘調査報告書から
～百間川沢田遺跡・兼基遺跡～』

第2回企画展(H19. 7/20～10/14)
『過去と未来を結ぶ道—一般国道180号総社・一宮バイパス関連発掘調査の成果から—』

第3回企画展(H19. 10/16～H20. 1/14)
『岡山の武器と武具』

第4回企画展(H20. 1/16～4/20)
『まにわの遺跡』

予告

最近刊行された報告書から



- 岡山県埋蔵文化財発掘調査報告204『中町B遺跡』(美作市)
平安時代の集落跡。古代因幡道発見。
- 岡山県埋蔵文化財発掘調査報告205『下町陣屋跡』(美作市)
明石藩もしくは龍野藩の陣屋跡。屋敷内井戸の遺物も併せて所収。
- 岡山県埋蔵文化財発掘調査報告206『津島遺跡』(岡山市)
津島遺跡南西部の調査。弥生中期の集落と古墳前期の水田検出。
- 岡山県埋蔵文化財発掘調査報告207『鹿田遺跡』(岡山市)
鹿田荘縁辺の調査。平安時代～中世の集落を確認。
- 岡山県埋蔵文化財発掘調査報告208『百間川兼基遺跡4 百間川沢田遺跡5』(岡山市)
県下有数の弥生時代集落として著名な百間川遺跡群の最新刊。
- 岡山県埋蔵文化財発掘調査報告209『総社遺跡 金井戸遺跡 北溝手遺跡』(総社市)
戦国時代の館、平安時代の建物群、中世の土壌墓など多彩な一冊。
- 岡山県埋蔵文化財発掘調査報告210『鹿田遺跡』(岡山市)
先の報告書207に隣接する調査区の成果。鹿田荘の縁辺。
- 岡山県埋蔵文化財発掘調査報告211『塩納森井先遺跡』(岡山市)
白鳳寺院吉岡廃寺の南側。中世～近世の集落。吉岡廃寺7類瓦も出土。
- 岡山県埋蔵文化財発掘調査報告212『津島遺跡7』(岡山市)
従来水田と考えられていた地域で、微高地を確認。

<職員>

所長	高畑知功
次長	小林 勝
(総務課課長事務取扱)	
参事	岡田 博
副参事	中島謙次
総務課	
総括副参事(班長)	若林一憲
主任	福池光修
主事	堤 弘至・絹輪桂子・荒木正行・横林康秀
臨時職員	大西由貴奈
調査第一課	
課長	中野雅美
第一班	
総括主幹(班長)	大橋雅也
主任	弘田和司・渡邊恵里子・岡本泰典
	小嶋善邦(文化財課本務)
主事	和田 剛・石田爲成
臨時職員	竹下鎌史
第二班	
総括副参事(班長)	岡本寛久
主任	氏平昭則
主事	田中政之

調査第二課	
課長	島崎 東
第一班	
総括主幹(班長)	高田恭一郎
主任	物部茂樹・尾上元規・團 奈歩
主事	藤原範子
第二班	
総括副参事(班長)	江見正己
副参事	福田正継
主事	松尾佳子・上梅 武・畑地ひとみ
調査第三課	
課長	平井泰男
第一班	
総括副参事(班長)	浅倉秀昭
副参事	山磨康平
主事	河合 忍・三浦孝章
第二班	
総括副参事(班長)	内藤善史
副参事	二宮治夫
主任	澤山孝之・柴田英樹・小林利晴
主事	笹栗 拓



メールマガジン「大地からの便り」読者募集中!



編集・発行

岡山県古代吉備文化財センター

所在地 〒701-0136 岡山市西花尻1325-3
TEL (086) 293-3211 FAX (086) 293-0142
<http://www.pref.okayama.jp/kyoiku/kodai/kodaik.htm>

- 交通案内
 - ・JR山陽本線庭瀬駅下車徒歩40分
 - ・JR吉備線吉備津駅下車徒歩25分
- 業務時間 AM 8:30~PM 5:15
- 休業日 土・日曜日及び祝日、年末・年始
- 展示室の開館 AM 9:00~PM 5:00
年末・年始を除き、土・日・祝日も開館しています。
ただし、臨時に休館することがあります。



なくしていこう、差別・偏見・いじめ